

# ホタテガイ採苗速報

## 一部地域で産卵が始まりました

令和3年2月4～12日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月4日、12日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月12日に湾内6定点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

### 1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で26.0、東湾平均で25.8と前回それぞれ23.2、20.8より高い状況ですが、一部地域（蓬田村）で産卵が始まりました（図1～2）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は21.6と前回17.9より高い状況です（図3）。各地の測定結果は表2のとおりです。

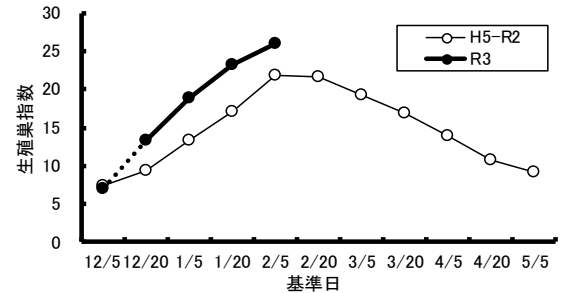


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

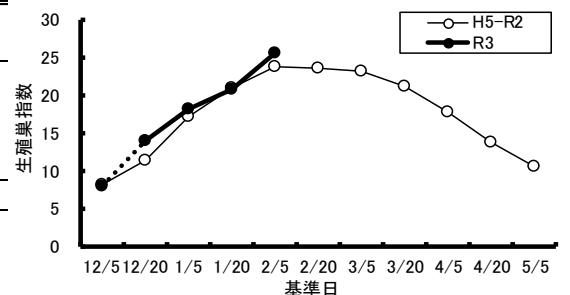


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

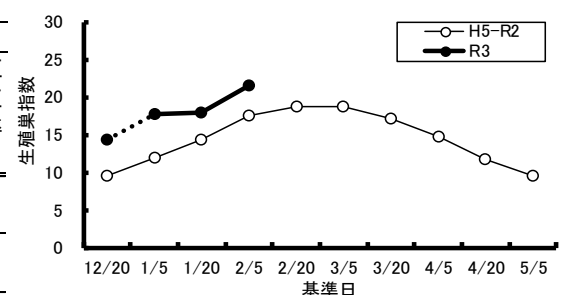


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※調査地点が1地点の場合は破線。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
蓬田村	2月12日	10.9	126.0	58.4	46.3	14.2	24.0 [25.1]	23.3【0.0】(11.2)
青森市奥内	2月4日	10.6	131.1	47.5	36.1	13.9	28.9 [24.6]	6.7【0.0】(8.5)
久栗坂実験漁場	2月4日	11.8	182.0	78.0	43.2	20.7	26.3 [22.2]	23.3【0.0】(8.3)
平内町土屋	2月4日	10.5	129.2	57.4	44.4	14.2	24.6 [20.9]	16.7【0.0】(5.7)
西湾平均		11.0	142.1	60.3	42.5	15.8	26.0 [23.2]	17.5【0.0】(8.5)
野辺地町	2月4日	9.2	102	43.8	43.0	10.5	24.3 [22.7]	76.7【70.0】(1.6)
むつ市	2月7日	10.3	111.2	54.9	49.3	15.2	27.5 [21.5]	16.7【3.3】(6.0)
川内町	2月12日	10.1	121.1	62.9	52.0	15.7	25.0 [15.0]	10.0【0.0】(5.1)
川内実験漁場	2月4日	10.7	139.2	65.4	46.8	17.3	26.3 [24.1]	30.0【0.0】(2.0)
東湾平均		10.1	118.4	56.8	47.8	14.7	25.8 [20.8]	33.4【18.3】(3.9)
全湾平均		10.5	130.2	58.5	45.1	15.2	25.9 [22.0]	25.4【9.2】(6.3)

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率 (%)
むつ市	2月4日	10.8	129.6	61.7	47.4	13.7	21.9 [21.2]	6.7【3.3】(1.2)
川内町	2月12日	10.4	138.2	59.8	43.1	12.7	21.3 [14.7]	3.3【0.0】(2.6)
東湾平均		10.6	133.9	60.7	45.3	13.2	21.6 [17.9]	5.0【1.7】(1.9)

[ ]: 前回の値  
( ): H5-R2の平均値  
【】: サンカクフジツボによる異常貝率

[ ]: 前回の値  
( ): H5-R2の平均値  
【】: サンカクフジツボによる異常貝率

### 2 海況

各ブイの2月8～14日の週別平均水温は表3のとおりです。15m層の2月第2半旬平均水温は、平館ブイ、青森ブイで平年並み、東湾ブイでやや低めとなっています。

表3 各ブイの1週間(2/8～2/14)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	8.6～9.0	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	1.8～2.9
蓬田ブイ	-	清水川ブイ	-	川内ブイ	2.4～3.1
奥内ブイ	7.2～7.3	野辺地ブイ	4.8～4.9	脇野沢ブイ	-
青森ブイ	6.5～6.7	東湾ブイ	3.2～4.0		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	2.7～3.7		

-: メンテナンス中

### 3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバは、西湾平均で20個/m<sup>3</sup>、東湾平均で26個/m<sup>3</sup>出現しました（図4～6）。ムラサキガイとキヌマトイガイのラーバは、全湾平均でそれぞれ321個/m<sup>3</sup>、567個/m<sup>3</sup>出現しました（図7、8）。

### 4 今後の見込み

一部地域で産卵が始まりました。今後、水温の昇温刺激があると大規模産卵が始まる可能性があります。産卵状況、ラーバ出現状況及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

小型のウミセミが多く見られる地区があります。採苗器投入が早まった場合、目合1.5～2分の袋の採苗器には小型のウミセミが入り込むので目合1分の袋を使うことをお勧めします。



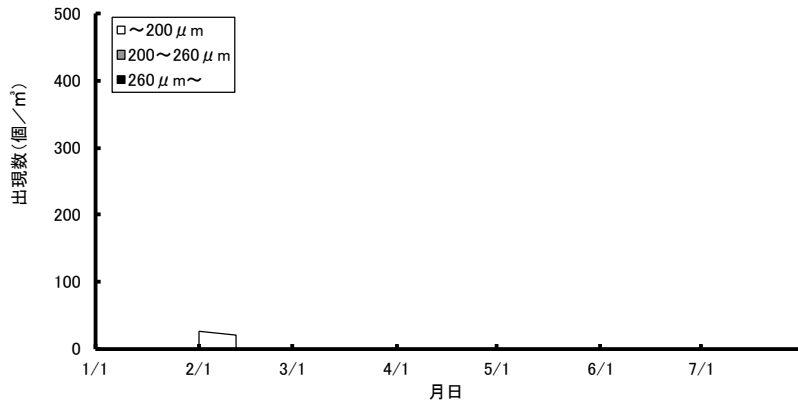


図4 西湾におけるホタテガイラーバ出現数

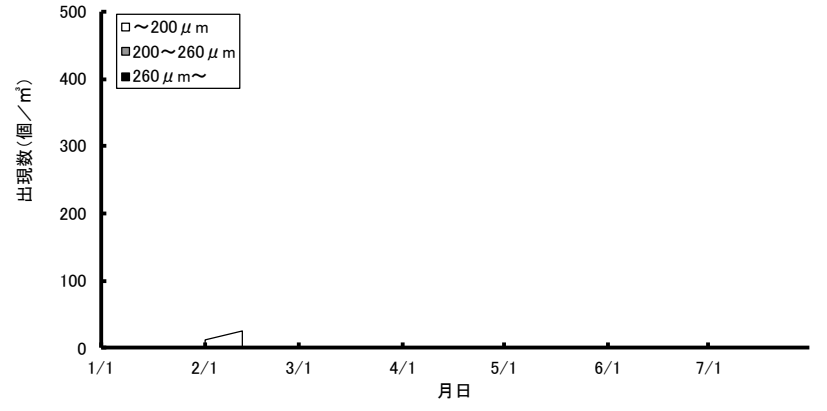


図5 東湾におけるホタテガイラーバ出現数



図6 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)

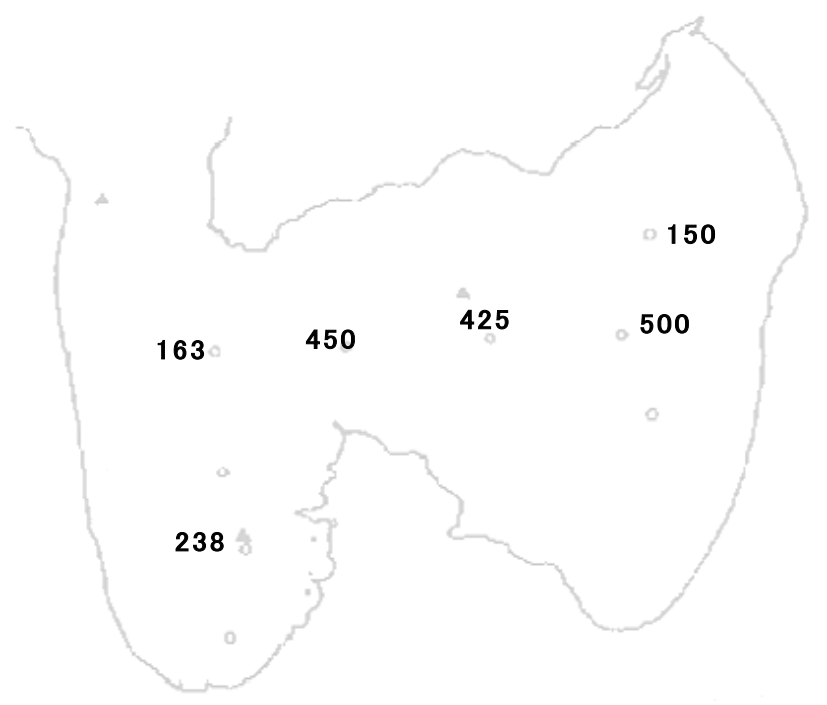


図7 調査地点別におけるムラサキイガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)

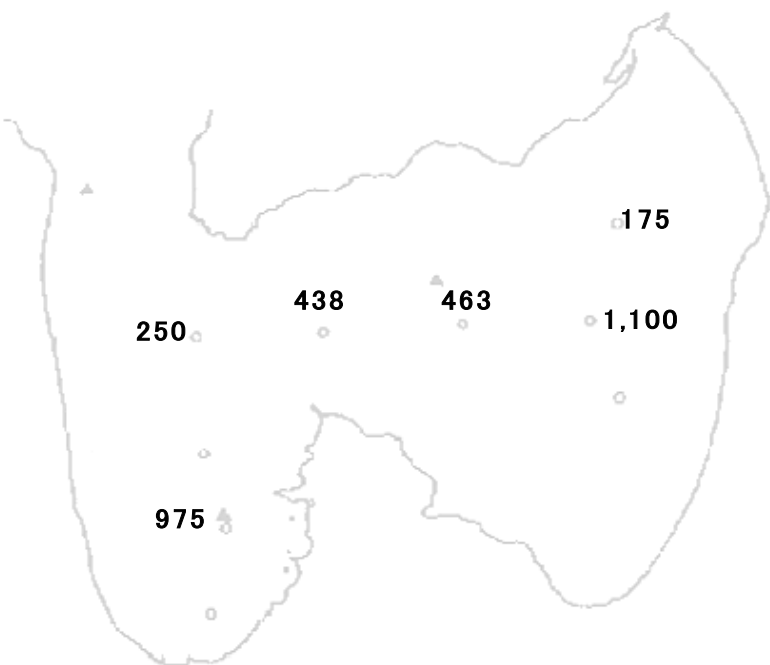


図8 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数(個/m<sup>3</sup>)